

# 優秀賞

リフォーム前後の写真

タイトル 古民家にマンションの快適さを挿入  
～新旧交わりはじめ

タイプ 持家一戸建

構造 在来木造

講評

古民家の雰囲気を残しつつマンションライクな暮らしを求めたリフォーム。重厚な梁や土壁を活かす工夫と空間に馴染む色とデザインで快適さを向上させた。土間の井戸がシンボリックに建物の歴史を物語っている。

Before



A: 屋根



B: 土間



C: 天井



D: 土間

After



①外観：傷みのひどかった外壁周りを新調。土間の外壁に一新。



②玄関：外観に馴染むような色とデザインの引き戸を採用。



③玄関：土間とホールで約90cmの落差があったので、将来に備え踏台を設置。



④庭：トイレやお風呂があった場所を減築してウッドデッキを設置。



⑤玄関：土間にある現在使っていない井戸を残し趣のある風景を残している。



⑥キッチン：一番こだわったのはバーカウンター。将来的なことも考えて高さを低めに。使う椅子と座った時のカウンターの高さを合わせるために調整を繰り返した。



⑦キッチン：キッチン収納の上部は室内窓を設け趣を残した玄関と空間的につながるよう配慮した。



⑧リビング：土間に新たに窓を設けた。厚みのある300年もの土壁を約1ヶ月かけて丁寧に穴を開けた。その甲斐もあって奥行きのある面白いデザインに仕上がった。



⑨畳コーナー：段差をなくして琉球畳を敷き、バリアフリーに配慮。2階には古くからの物置があり、収納式のはしごに変更して居室の広さを確保した。

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

<リフォームの動機>実家を受継ぐことになりリフォームを計画。築300年を超えるといわれる古民家で風呂やトイレが非常に寒く、それまでマンション住まいだった為色々不便に感じていた。手付かずの部分も多いので、一気に手を加えるのではなく、まずは雨漏りのひどい屋根部分と自分たちの居住スペースを中心にリフォームすることに。

にするスペースとマンション以上の快適性を実現する居室部分とで設計仕分けた。玄関周りは土間に残っていた井戸を風景の一部として残り段差は使いやすいように踏台で軽減。杉板張りの外壁は焼杉風に変更。トイレやお風呂があった場所を減築して庭とウッドデッキに。

<設計・施工の工夫点>元々台所として使っていた通り土間をリフォーム。全体のリフォームではないので残す部分と新しく挿入する部分の区分けに苦慮しながら、古きよき面影を大切に

<施主様の感想・満足度>納得のいくレイアウトに仕上がりに満足。広い庭で土いじりもできるし、小鳥のさえずりを聞きながらマンションではあまり味わえないスローライフを楽しみたい。

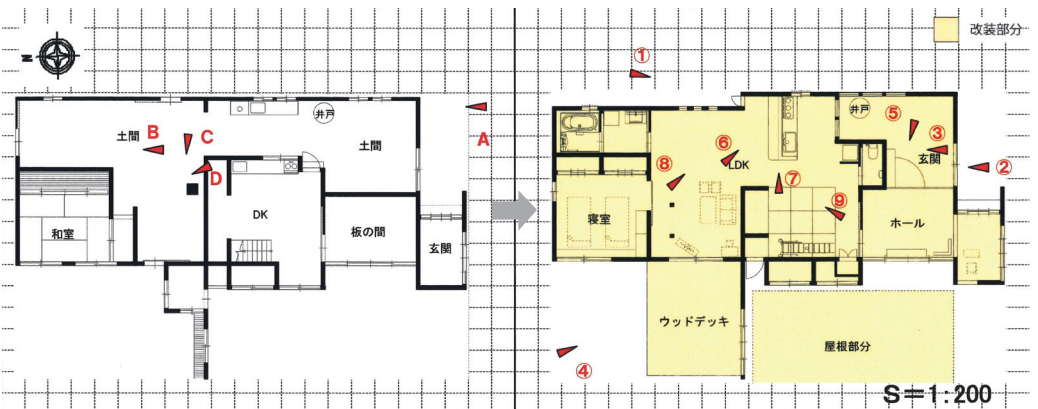
性能向上の特性  
耐久性、バリアフリー性能、  
温熱性能、防犯性能

特に配慮した事項  
重厚な梁や土壁などを見せて、古民家としての古き良きものを末裔に残していけるようにしながら、マンション暮らしのような快適性を実現させた。

データ	
所在地	滋賀県
築後年数	300年
施工期間	120日間
該当工事面積	125.45㎡ / 総工事床面積 125.45㎡
該当部分工事費	3,268万円 / 総工事費 3,268万円
居住者構成	15歳以上65歳未満：2人 / 65歳以上：人 / 15歳未満：人 / ペット：人
設計会社	パナホーム(株)
担当者	山本 隆行
施工会社	同上
担当者	同上

リフォーム前

リフォーム後



リフォーム部位：居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共用部分